

## ベルマーク新聞 7月号

発行 公益財団法人ベルマーク教育助成財団 東京都墨田区両国3-25-5 JEI両国ビル9階 〒130-0026 電話 03-5638-2320(代表)  
郵便振替口座 00100-7-56035 ホームページ <https://www.bellmark.or.jp/>

## 新園舎に響く新しいピアノの音色

 富山・わかさ保育園



㊦新しいピアノを囲んで歌う子どもたち  
㊧㊨保育士手作りの回収箱  
㊩㊪わかさ保育園の新園舎

富山市の幼保連携型認定こども園「わかさ保育園」(山崎美和子園長、園児373人)は今春、長く貯めたベルマーク預金で新園舎に置くピアノを買いました。子どもたちは新しいピアノの音色にあわせて元気に歌っているそうです。

わかさ保育園は0歳～5歳児が3つの園舎に分かれて過ごしています。このうち2歳児以上が通う本館は近くの土地に新築された園舎に今年4月から移りました。「2階の屋上からは、立山連峰を望むことができますよ」と山崎園長。

園が創立された1979年からベルマーク運動に参加し、累計で116万点以上を集めてきました。でも、ここ10年ほどはお買いものをしておらず、ベルマーク預金は64万円あまり残っていました。

この預金を使って新園舎に新しいピアノを寄付したい、と父母の会が提案。協力会社のヤマハのアップライト型を、税込み90万4700円で買いました。足りない分は園と父母の会が出し合って補ったそうです。

4月上旬、新園舎の遊戯室に、待望のピアノが搬入されました。山崎園長は「感動しました。ピカピカのピアノが、これからずっと園舎と同じ歴史を刻んでいくんです」と話します。

連休が明けた5月中旬以降、毎月開かれる3歳児以上の誕生会でピアノは活躍しています。「おめでとう」「ハッピーバースデー」といったお祝いの曲を、保育士によるピアノ伴奏で子どもたちが大きな声で歌っています。また2歳児も

音楽に合わせて体を動かす「リトミック」の時間にピアノに親しんでいます。

園では昨年度、コロナ対策のため、子どもたちが歌うことを控えていた時期がありました。でも保護者から、子どもが夜寝る前に一人で歌っているなどの話が届いたこともあり、子どもたちに寂しい思いをさせないように、保育の中に再度、歌を取り入れるようになりました。とはいえコロナ禍が続いているため、距離を取ったり、屋外を使ったりするなどの工夫をしているそうです。「子どもにとって歌は気持ちを安定させる大事な存在。その意味でもピアノの購入はありがたかったです」と山崎園長。

わかさ保育園では、父母の会の役員とベルマーク係が仕分け・集計します。

保育士も、玄関に常設している回収箱を手作りするなど協力しています。でも昨年度はコロナ禍による登園自粛などで最初の3カ月は活動がストップ。年度末近くには、運動を終えようという話もありましたが、今年度に入って新旧役員が話し合い、活動継続が決まりました。

山崎園長は「保護者の方々がコツコツと整理して送ったベルマークが、ピアノに姿を変えました。一生ものの素敵なプレゼントです」と話してくれました。

これからも  
よろしくお祈りします!!



## 新たな地で業務をスタート

 JR総武線両国駅の東口を出てすぐのビルです

ベルマーク財団は、6月21日から両国の新事務所で業務を始めました。ベルマークなど財団への郵送物は、財団HPのトップページに赤字で記した両国の住所にお送りください。電話番号、ファクス番号も変わっています。なおホームページのURLやメールアドレスは以前と同じです。

新事務所が入居しているビルは、JR総武線の両国駅の東口を出ると、ほぼ目の前にあります。高架線沿いの道路を渡るだけで入り口に着くため、少々の雨なら傘を差さずともそんなにぬれずに飛び込むことができます。事

務所には、全国から集まるベルマークを収容する倉庫と事務スペースに加え、最大10人程度が入れる会議スペースもあります。

両国は、大相撲の興行が実施される国技館で有名ですが、そのほかにも江戸東京博物館や北斎美術館など、立ち寄りに適した名所がたくさんあります。コロナ禍が続くうちはなかなか難しいとは思いますが、アフターコロナの世界が実現した折には、ぜひ財団見学を兼ねて、両国に遊びに来てみてはいかがでしょうか。そうした日々が早く訪れることを願っています。



右が財団の入居するビル。JR両国駅東口のほぼ正面です